



炉物理連絡会ニュース (No. 14)

1991年3月11日発行

目次

- 1. 第46回「炉物理連絡会」総会議事要旨 1
- 2. 平成3年度役員候補者の通知 2
- 3. ANSの会議に関するお知らせ 2
- 4. 第34回 NEACRP 論文募集の案内 3
- 5. 「新型原子炉プラントの設計と安全」国際会議のドラフト紹介 3

1. 第46回「炉物理連絡会」総会議事要旨

1990年10月3日(12:00 ~12:55) 於 東北大・工 原子力学会秋の大会会場

藤田薫頭委員長の司会で議事が進められた。

(1)「運営に係わる内規の改正」について

第45回総会で、平成3年度役員選出より新方式とすることに決定した(第45会議事録議事(4))。これを受けて、運営に係わる内規の改正をした。原案を検討の後に修正して、以下のように決めた。

- 「炉物理連絡会」の運営に係わる内規(59-3-31 第33会総会決定)の(6)(7)(8)項を削除。
- 新たに(6)項として以下を入れる。
 - (6)役員は次の方法で選出する。
 - 1)春の総会前に、総務担当運営委員が予め候補者を会員に周知させる。
 - 2)春の総会において決定する。
- 旧(9)項を新(7)項とする。

(2)次期幹事機関の決定

次期幹事機関として東工大・炉工研(関本博 代表)をお願いすることに決定した。

(3)現幹事機関・原研の報告

第22回炉物理夏期セミナーは80名の参加を得て無事終了した。収入1,333,030円、支出1,328,384円で、差引4,646円を来年度に繰り越した。

第40号「炉物理の研究」編集案の説明があり、平成3年春頃までには発刊する予定であるとの説明があった。また留学生の目を通した海外の研究動向を載せたいので記事をお願いしたいとの要請があった。

(4)第23回炉物理夏期セミナーの案内

関本博氏より次期幹事機関を引き受けることになったので宜しくとの挨拶の後に、平成3年の第23回炉物理夏期セミナーの案が紹介された。

日程予定：平成 3 年 7 月 21 日（日）～
24 日（水）

場所候補：河口湖（リゾート・イン・
ホテル・ラベンダーファーム）

講義内容：未定

講義内容についてのアンケートを会場で集めるので協力して欲しいとの要請があった。

(5) 企画委員会報告

内藤企画委員より、今回の学会より新しいテーマ分類で運営していること、及び予稿集の第 I、II 分冊を無くし合本にしたとの報告があった。これについて席上次のような意見が出された。

- 合本にしたので、重くて、値段が高くて、資源の無駄使い、分冊がよい。
- 重くて本としての限度を超えている。次回より売上が落ちるのでは？

- 値段が高すぎて学生に買えといえない。これに対して企画委員の方から、以下の意見が紹介された。
- 消滅処理など両分冊に載せて欲しいという意見が、当連絡会に寄せられている。
- 第 II 分冊の分野の人が第 I 分冊を買うことを望んでいる。この場合は 2 冊買うより安くなる。

(6) 編集委員会報告

特に報告はなかった。

(7) 炉物理研究委員会

金子委員長より、第 33 回 NEACRP 会議（1990 年 10 月 15 日～19 日、パリで開催）には金子委員長と若林氏（PNC）が参加することと、資料に基づいて会議の議事予定の説明があった。

2. 平成 3 年度役員候補者の通知

来る 3 月 29 日（金）に 1991 年学会春の年会の A 会場で 12 時より開催される炉物理連絡会総会にて、運営に関わる内規第（6）項に基づき、平成 3 年度の役員を選出することになります。ここに同内規第（6）項その 1 により役員候補者名をお知らせ致します。

委員長 中沢正治（東大・工・原子力）
副委員長 関本 博（東工大・炉工研）
企画 井頭政之（東工大・炉工研）

（夏期セミナー担当）

企画 小原 徹（東工大・炉工研）

（炉物理の研究担当）

総務 井口哲夫（東大・工・原子力）

総務 宇根崎博信（京大炉）

編集 錦織毅夫（阪大・工・原子力）

（ニュース担当）

編集 岩崎智彦（東北大・工・原子核）

3. ANS の会議に関するお知らせ

竹田敏一氏（阪大・工）より ANS Reactor Physics Division の主催する炉物理トピカルミーティングについて以下のようなアナウンスがあった。

- 1992 の会議は 1992 年 3 月に米国サウスカロライナ州チャールストンで開催されることに決定。但し、詳細は未定。

- 1996 年の会議は米国以外での開催が予定されているが、日本での開催が期待されている。これに立候補する場合は、1994 年 1 月までに申し出なければならないので、これについて検討を始める必要がある。

4. 第34回 NEACRP 論文募集の案内

第34回 NEACRP の論文募集のお知らせが炉物理研究委員会よりありました。以下にその分野を載せます。尚、論文の提出は、炉物理研究委員会・原子炉システム専門部会・石黒、遮蔽専門部会・鈴木、核融合炉部会・前川の各部会長まで。

<送付先> 〒319-11 茨城県那珂郡東海村
白方白根 2-4 日本原子力研究所
東海研究所 原子炉工学部

今回募集の分野

1. New topics

1.1 Impact of New Computer Architecture on Radiation Transport Codes (Vector and/or Parallel Computers, Advanced Work Stations, Transputers, etc).

1.2 New Application of Neutron Radiography.

2. Topics carried over from previous Meetings

2.1 Current issues of Plutonium Recycling in LWRs.

2.2 Review of Requirements for the Methods of Validating Neutronics Codes.

2.3 Physics Aspects of Fast and other advanced Reactors (Reactivity Feedback Properties, Design Tradeoff and

Safety Implications).

2.4 Major Nuclear Non-Reactor Facilities (formerly: New Facilities of Importance for Neutronics and Reactor Physics Research).

2.5 Fusion Blanket Shield Performance (formerly Fusion Blanket, etc.).

2.6 Physics and Safety Aspects of Transuranium Burning Reactor and Accelerator Performance.

2.7 Physics Problems of 3D On-Line Monitoring.

3. Benchmarks and Data-Bases

3.1 Radiation Shielding Benchmark Data Base.

3.2 Criticality Safety: Burnup Credit.

3.3 Shielding of Transport Casks.

3.4 Noise Analysis.

3.5 Measurement of Tritium Production Rates.

3.6 Three-Dimensional Transport Benchmark.

3.7 Validation of Delayed Neutron Data.

3.8 3-D Dynamics for LWR Cores.

3.9 Pin Power Distribution within Assemblies.

5. 「新型原子炉プラントの設計と安全」国際会議のドラフト紹介

標記会合が日本原子力学会の主催で 1992 年 10 月 25 日～ 29 日開催予定で、目下準備が進められております。現在予定のトピックスは以下の通りです。尚、まだ確定したものではありませんので、ご関心のある方は直接、岡 芳明氏 (東大・工) にお尋ね下さい。

1. Role of Next Generation Reactors in

the 21st Century

national program, future needs, utility requirements

2. Advanced Reactor Design

(1) light water reactors, heavy water reactors, gas cooled reactors, liquid metal reactors,

(2) advanced reactors for use other than

- electricity production district heating reactors, space and civilian marine reactors,
- (3) advanced reactors for high fuel utilization etc,
high conversion reactors, breeders, actinide burners, plutonium utilization strategy
3. Advanced Reactor Technology
simplification method, passive system and related analysis, improvements of active system, combination of active and passive system, improvements of operability and maintainability, enhanced use of computers, improvements of man-machine interface, modularization
4. Safety of Advanced Reactors
testing, experiments, safety analysis, computer code verification, licensing, requirements, safety goal, PRA
5. Construction and Siting
advanced construction and siting technology, seismic consideration, anti-seismic design
- (6. Market Potential and Economics ... may be included in 1.)
7. Public Communication Method and Experience is included in 5.
8. Innovative Method and Technology for Design and Safety of Advanced Reactors

炉物理連絡会会員募集中！

炉物理連絡会に入会ご希望の方は、年会費（正会員：1,500 円、学生会員：1,000 円）を添えて、直接、日本原子力学会事務局までお申し込み下さい。

第 4 7 回炉物理連絡会総会の案内

日時 1991 年 3 月 29 日 (金) 12 時より
場所 日本原子力学会春の年会 (近畿大学) A 会場
議事 平成 3 年度役員を選出
(本ニュース p.2 に役員候補者名掲載)
その他